第183回長浜水道企業団議会定例会議案説明資料

長浜水道企業団

議案第６号　令和６年度長浜水道企業団水道事業会計剰余金の処分および決算の認定について

（１）決算のポイント

長浜水道企業団地域水道ビジョンに基づき、事業区域の統合や施設の老朽化への対応等の事業を実施しました。また、安全な水道水の供給のため浄水施設の点検や修理、水道管の漏水修理等を実施しました。

収支の状況については、収益的収支はほぼ前年度並みだった一方、資本的収支は建設改良事業の増加により収入支出ともに約8億円増加しました。

経営状況を示す収益的収支では、8事業中2事業(余呉木之本、西浅井)では赤字でしたが、企業団全体では3億8,446万2千円の黒字となりました。

（２）水道使用状況

長浜市北部を中心に人口減少が進む一方、核家族化等の影響で給水件数は横ばいです。使用水量は企業団と浅井で微増しましたが、全体としては横ばいとなりました。また、管路の老朽化や布設状態の悪さから漏水が多発し、湖北と木之本を除いて有収率が低下しています。

（３）収益的収支

収入では、受託工事収益が増加しましたが、加入金や負担金が減少したため、前年度に比べ1,325万2千円(0.5%)減少しました。支出では、物価高騰による動力費や薬品費、委託料の上昇により原浄水費が、受託工事の増加により給配水費が増加したため、7,731万9千円(3.5%)増加しました。

この結果、3億8,446万2千円の黒字となり、このうち3億5,000万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

（４）資本的収支

設備投資の収支を表す資本的収支では、長浜水道企業団地域水道ビジョンに基づき、企業団とびわ、高月と木之本の事業統合や、施設の老朽化へ

の対応として浅井上水道再構築や浄水設備の更新、水道管布設替工事を実施しました。高山浄水場ろ過設備増設工事など、継続して実施してきた事業が完了したため、建設改良費は前年度に比べ8億6,232万7千円(116.9%)増加しました。

議案第７号　令和７年度長浜水道企業団水道事業会計補正予算(第１号)

「びわ上水道事業代替水源施設整備事業」について、水道水源開発等施設整備費国庫補助金の交付が決定したため、その財源の組替えとして、びわ資本的収入の補助金を3,854万円増額補正し、企業債3,860万円を減額補正するもので、差額6万円については内部留保資金を充てます。